

特集 原料研究者インタビュー

差別化を明確に打ち出す方向に



発行所 週刊粧業®
東京都台東区上野1-18-9
(旧門平ビル3F) 〒110-0005
電話 (03)3836-2601
FAX (03)3836-2602
週刊粧業ホームページアドレス
https://www.syogyo.jp
E-メールアドレス
letter@syogyo.jp
©週刊粧業 2021

週刊粧業では、隔年で開催される化粧品産業技術展「CITE Japan (サイトジャパン)」に合わせ、「原料研究者インタビュー」特集に取り組んでいる。年々競争が激化する業界において、本舗メーカー各社は消費者の興味・関心を惹きつける製品づくりに力を注いでいる。コロナ禍においては特に、「世界初」を謳える製品など特長が際立った原料や、新たな生活様式にアプローチした原料に注力する姿勢が鮮明になっている。開発の最前線に立つ、原料研究者に話を伺った。

「世界初」謳える先鋭的な原料の提案で差別化図る

化粧品業界は、市場の発展(東京)にて、グローバル化やテクノロジーの進化を背景とした。中でも、近年認知が新規参入ブランドの増加により、レッドオーシャン化が進んでおり、市場に投入される製品も情報も増える中、消費者に選ばれた商品づくりを指した素材・処方開発が進んでいる。

この傾向は、技術発表会や展示会にも表れており、昨年10月末に開催された化粧品国際学術大会「第31回国際化粧品技術者会連盟横浜大会(I-FSCC2020オンライン学術大会)」でも、発表内容も多様性に富んだものが多かった。原料メーカーやOEMといったサプライヤー企業が自社研究力・技術力をアピールする場として機能してきたことも近年の特長と言えるだろう。

「世界初」の原料と提議を進めている。一丸ファルコスも、植物由来の育毛成分として、毛包細胞因子Riss Pondiniの産生を促す「世界初」の成分を抽出した「羊膜エキス」も、「世界初」の原料と提議を進めている。一丸ファルコスも、植物由来の育毛成分として、毛包細胞因子Riss Pondiniの産生を促す「世界初」の成分を抽出した「羊膜エキス」も、「世界初」の原料と提議を進めている。

「発酵熟成プラセンタ」を独自技術で発酵熟成させる製法で、有効性をより高めたという。昨年には、同技術を応用した「発酵熟成コラーゲン」の展開を始めたほか、お腹の中で胎児を保護する馬由来の羊膜から抽出した「羊膜エキス」も、「世界初」の原料と提議を進めている。

新型コロナウイルスの感染拡大以降、マスク着用の常態化や消毒頻度の高まりによる肌荒れ、自粛生活からくるストレスなど生活者の悩みが増加しており、こうしたニーズに対応すべく新たな原料の開発が進んでいる。

マスク荒れやストレスの悩みなどコロナ禍に対応した提案に注力

直近では、医薬部外品として乾燥肌の治療に効果的な保湿成分・ヘパリン類似物質を配合した化粧水や乳液をラインナップしたほか、指定医薬部外品では、消毒と保湿を両立できるスキンケア成分配合のエタノール消毒液も提案している。

原料研究者インタビュー特集：(6) (7)

巷間美風

今月行われた箱根駅伝と高校サッカーを自宅で観戦し、競技は遠くまで追いつけず、試合は前半12分に山梨学院が先制するも、後半に入って青森山田が57分と63分に立て続けにゴールを奪い逆転した。これ

